（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用･昇進･福利厚生等のあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築している。 ・差別防止のための職員研修を実施するとともに、相談窓口を設置している。 ・性別、国籍、年齢等にかかわらず、全てのお客様が満足し、幸福感を感じ取れるようなサービスを実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・店舗責任者、職場長を中心にハラスメント予防の研修を実施するとともに、相談窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労働基準法等の改正内容を経営者、店舗責任者を含めた管理職全員が共有するとともに、長時間労働を是正するための時間管理や勤務体制の改善に取り組んでいる。 ・新たな業務にチェレンジする機会の提供や研修の実施、また、資格取得の援助など職員にスキルアップの機会を提供し、一人の職員に業務が偏らないような、人材育成を進めている。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・外国人職員への適切な処遇や評価、また、得意分野を活かせる部署への配置など、労働環境の整備を進めている。 ・交流会や日本の伝統行事への参加などを実施し、外国人職員と日本人職員がお互いに理解しあえる職場環境の構築を進めている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・各店舗で安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・メンタルヘルスに関する理解を深めるための研修を実施している。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・性別･年齢･国籍に関係なく、平等に評価する評価制度を導入するとともに、各々の得意分野を活かせる人事配置を行っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・社内で各種研修を実施する他、国内外での社外研修機会の提供、各種資格取得に対する援助制度等のスキルアップの機会を提供している。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	【予定】パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備を進る。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ				3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物の量、種類を適正に把握、記録するとともに、廃棄物を削減する取り組みを進めている。											11.6	12		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握し、削減する取り組みを進めている。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・環境目標、環境行動計画を作成し、温室効果ガス排出の抑制に取り組んでいる。 ・窓、屋根天井等への断熱材の導入による冷暖房の使用の削減、LED電灯導入による電気消費量の削減などの取り組みを進めている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、各種洗剤等について、有害化学物質の含まれていないものの導入を進めている。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・生物の多様性、生態系を考慮した、食材の使用、メニューの作成を進めている。 ・シーフードレガシー花岡氏との勉強会を実施し、海洋の生態系を守るための取り組みを進めている。 ・使用･購入するあらゆるものについてエコラベルの付いた製品の導入を進めるよう取り組んでいる。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・資源ゴミの分別を進め、リサイクル可能な資源の回収に協力するとともに、廃棄物を減少できるように取り組んでいる。												13		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ							6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・ホームページ、パンフレット等で自社の環境に対する取り組みを公開している。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ								7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ													12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】汚職・贈収賄禁止を含む行動規範の整備を進め、社内への浸透を図る。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】不正競争行為への関与禁止を含む行動規範の整備を進め、社内への浸透を図る。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・商標等の知的財産権の取得管理をしている。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報保護に関する基本方針を定め、社内に周知・徹底している。 ・個人情報保護に関する研修を実施するとともに、情報管理のルールを徹底している。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																	16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・取引先との対話を通して人権侵害防止等の取り組み状況等の確認を行っている。 ・新規購入や新規取引を行う際に相手方の環境への取り組み等を確認し、環境活動等の内容も含めた業者の選定を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・安全なサービスを提供できるように、日々の衛生管理、食品チェック、定期的な衛生状況のチェック等の管理体制を整備している。 ・お客様が来店される際に想定されるリスクの洗い出しと対応を確認し、各部署で共有している。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・お客様から頂く多様なニーズに対応するため、予約段階から調理・サービスが連携する体制を構築し、年齢、性別、国籍を問わず全てのお客様に満足いただけるように努めている。 ・地域と連携し、地産の旬の食材、品質の良い食材の仕入れを進めている。 ・お客様から頂く声を社内全てで共有し、サービスの向上に繋げるような体制を構築している。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・自社の農園で採れた無農薬食材を使用した料理の提供を行っている。 ・食が与える生態系への影響に配慮したメニューの考案を進めている。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・地産地消の推進を進めている。 ・里山再生プロジェクトとして、里山地域が抱える、超少子高齢化、人口減少、里山の荒廃等の課題を包括的に解決するための取り組みを地域と連携して実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域との対話により、自社が地域に与える影響を的確に把握し、日々改善に努めている。 ・松本育ちの企業として、松本の良さを地域に発信し、地域と共に発展していけるように取り組んでいる。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・総料理長が県内小中学校の食育授業に講師として参加している。また、2020年に自身主催による食の寺子屋を実施し、食を通じた子供の育成に寄与している。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・創業当時から地産地消にこだわり、自社農場で作った野菜をはじめとした地元産の食材を使用した料理をお客様に提供している。 ・地元農家との対話により、地産の食材の使用を進めるとともに、お客様への地産食材の発信を行っている。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営者が経営理念を持ち、経営理念、経営目標を明文化し、社内に掲示している。 ・毎月行われる全職員参加の職員会の中で経営者から直接、経営理念、経営目標の説明を随時行うとともに、職員による経営理念の唱和を実施している。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・社内掲示板でコンプライアンスの重要性を周知するほか、社内研修を実施し、社印への浸透を図っている。 ・【予定】コンプライアンスを含めた社員行動指針の制定を進める。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・【予定】CSR担当者を選任し、体制を整備する。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、具体的な内容に努めている。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・リスクの洗い出し、評価を定期的に行い、それに対する適切な予防、対策、対応等を講じている。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】CSR方針、CSRマネジメントプログラムの整備を進める。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・災害時を想定した定期的な訓練を実施している。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
食のサステナビリティへの取組み	・シーフードレガシー花岡氏との勉強会を実施し、海洋の生態系を守るための取り組みを進めている。 ・自社農場で収穫した野菜、米をグループ各社で使用。また、収穫体験等を実施し、農業従事者の減少に対する取り組みを実施している。 ・長野県で行っているおいしい信州ふーどの取り組みに参加。 ・松本市中山地区にある古民家及び周辺の畑、水田を使ったアグリツーリズムの実施。																	

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）